

# 九州大学 大型計算機センターニュース

No. 305

福岡市東区箱崎 6 丁目 10 番 1 号  
九州大学大型計算機センター  
広報教育室(TEL092-641-1101)  
内線 2505

## 目 次

- 1. 第2回九州大学大型計算機センター計算機科学研究集会の開催 …………… 1
- 2. 年末年始のサービス業務について…………… 2
- 3. 12月以降のサービス時間延長について…………… 2
- 4. 会話型図形処理システム GRAPHMAN の使用について …………… 3
- 5. ATF, MPS/X のバージョンアップについて…………… 5
- 6. 昭和59年度プログラムライブラリ開発課題(追加)について… 7

### 1. 第2回九州大学大型計算機センター計算機科学研究集会の開催

標記研究集会に多数の講演申込みをいただき、ありがとうございます。審査の結果、下記のとおり研究集会を開催することになりましたので、御参加くださいますようお願いいたします。

日 時 昭和59年12月6日(木) 9:45~17:00

会 場 九州大学大型計算機センター多目的講習室(3階)

### プ ロ グ ラ ム

開会の辞 (9:45~9:55) 吉田 将(九大・大型計算機センター)

講 演 (9:55~12:00) 座長 有川節夫(九大・理・基礎情報学研究施設)

- 1. 情報検索システムAIRの性能評価と機能追加について  
篠原 武, 二村祥一, 松尾文碩(九大・大型計算機センター)
- 2. フレーム風質問応答機能Wakuを用いたデータベースの検索  
高木利久(九大・工・情報工学科), 松尾文碩(九大・大型計算機センター),  
牛島和夫(九大・工・情報工学科)
- 3. 画面指向型プログラミング支援環境HUMANICSについて  
畠山貴次(九大・工・情報工学科), 宇津宮孝一(九大・総理工・情報システム学専攻)
- 4. ランドサットTMデータの特性分析と土地被覆判読への適用  
後藤恵之輔(長崎大・工・土木工学科), 森 正寿(長崎大・工・電子工学科)
- 5. 航空機リモートセンシングデータによる都市熱環境の画像分析  
(環境材料の熱容量による土地被覆分類)

梅干野 晁，南川喜伸（九大・工・熱エネルギーシステム工学専攻）

－昼 休 み（12:00～13:00）－

講 演（13:00～15:05） 座長 有田五次郎（九工大・情報工学科）

1. 最大周期列擬似乱数の統計的性質 田辺 拓（広島修道大・商・管理科学科）
2. 2階線形常微分方程式2点境界値問題の離散数値解法 杠 顕一郎（久留米高専・数学科）
3. 順序カテゴリ－応答データの潜在尺度線形モデルに基づく要因解析とそのプログラムについて  
上坂浩之（九大・総理工・情報システム学専攻），  
浅野長一郎（九大・理・基礎情報学研究施設）

4. 潮汐残差流を陽的有限要素法によって求める試み  
菊川浩行，市川 洋（鹿児島大・水産・水産学科）

5. トラクタロータリ耕うん機システムの設計理論とその応用  
－耕うん刃の三次元設計理論とCAD－ 金 基大（九大・農・農業工学科）

－休 憩（15:05～15:20）－

特別講演（15:20～16:50）

自然言語処理の現状と将来 長尾 真（京大・工・電気工学第二教室）

閉会の辞（16:50～17:00） 吉田 将（九大・大型計算機センター）

特別講演は，情報処理学会九州支部との共催です。

## 2. 年末年始のサービス業務について

年末年始のサービス業務を，下記のように行いますのでお知らせします。

### (1) 年末のサービス業務終了

- イ．サービス業務は12月25日（火）までです。
- ロ．12月24日（月）は，9時からサービスを開始します。
- ハ．12月25日（火）までに入力されたジョブについては，12月26日（水）にすべて強制出力を行い返却棚，又は連絡所に返却します。
- ニ．プログラム相談は12月25日（火）までです。

### (2) 年始のサービス業務開始

- イ．昭和60年1月7日（月）の9時からサービス業務を開始します。
- ロ．プログラム相談は1月7日（月）から行います。

## 3. 12月以降のサービス時間延長について

昭和60年2月までの計算サービス時間については，センターニュースNo. 301でお知らせしましたが昭和59年12月から昭和60年2月までクローズLP出力，及びセンター内TSSサービスの時間延長のため，サービス時間を下記のとおり一部変更します。

記

期 間	曜 日	クローズLP出力サービス	センター内TSSオープン利用機器サービス	センター外TSSサービス	備 考
12月1日～ 12月25日	月 火～金 土	12:30～21:00 9:00～21:00 9:00～12:00	12:30～22:00 9:00～22:00 9:00～16:00	12:30～24:00 9:00～24:00 9:00～17:00	12月24日(月) は9:00からサービス開始します。
1月7日～1月9日	月～水	9:00～16:45	9:00～22:00	9:00～24:00	
1月10日～ 2月28日	月 火～金 土	12:30～21:00 9:00～21:00 9:00～12:00	12:30～23:00 9:00～23:00 9:00～16:00	12:30～24:00 9:00～24:00 9:00～17:00	

- 備考
- 毎週月曜日は計算機システムの保守のため12時30分から計算サービスを行います。
  - 16時45分以降は無人運転となっており、システム障害が発生した場合には、障害発生後約15分後に自動的に再開します。ただし、20分経過後に再開できない場合は計算サービス打切りの処置をとらせていただきます。
  - クローズLP出力サービス終了後の出力は、ターミナル室のオープン出力用日本語ラインプリンタ装置を利用してください。使用法はターミナル室に掲示しています。
  - 繁忙期に延長運転を行う場合にはそのつど掲示でお知らせします。

(業務掛 電(内)2518)

#### 4. 会話型図形処理システムGRAPHMANの使用について

標記システムについては、すでに10月19日(金)の図形処理講習会の日より公開していますが、改めて、ここでお知らせします。このシステムの特徴は、以下のようなものです。

- 次のような図形パターンを作画できる。  
1次元図、多曲線の3次元図、2次元メッシュ図、2次元流れ図、等高線図、立体図、3次元メッシュ図。
- 図形データはPDB(Picture Data Base)と呼ばれるデータセットで統一的に管理される。
- 図形表示、図形編集が容易である。
- 表示図形をNLPやX-Yプロッタに出力できる。

使用に際しては、マニュアル[1]を参照してください。

使用方法

1). TSSによる使用

コマンド	オペランド
GRAPHMAN	なし

使用例① 新規にPDBをつくり、データを入力してピクチャを登録する。

```

READY
F9430 F9432A GRAPH -----> F9432Aで使用する場合はこのコマンドが前もって必要
READY
GRAPHMAN
---- FOLLOWING DEVICES ARE SUPPOTED NOW. ----
 1 NON GRAPHIC DISPLAY (CHARACTER DISPLAY)
 2 F9431, F9432, F9433, F9434
 3 T4006
 4 T4010, T4012, T4013
 5 T4014, T4015, T4016
 6 NLP (F6715D, ETC)
 7 XY-PLOTTER (F6201D, F6202B)
 8 F9430 & SCOPY (F9436PL2)
 9 NLP (A4 SIZE)
PLEASE SELECT DEVICE NUMBER -----> 2 -----> 装置番号の選択
PLEASE WAIT A MINUTE. INITIALIZATION IN PROCEEDING NOW
>CREATE PDB(GRAPHMAN.DATA) REC(5 5) -----> PDBの創設
>X=:0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 -----> データの直接入力
...X (10) IS ALLOCATED.
>Y=:4 6 2 12 11 6 9 15 10 11
...Y(10) IS ALLOCATED.
>NEWPIC EXAM 'LINE GRAPH'-----> 新しいピクチャEXAMの登録開始
>>ONEDIM 10 X Y -----> ここでは配列X、Yに値をもつ1本の曲線を登録
>>PICEND -----> データ入力終わり
>>END S -----> ピクチャを登録
>ENDG -----> GRAPHMAN終了
READY

```

使用例② すでに作成しているPDBのピクチャを使って作図する。

```

略
>
>PDB GRAPHMAN.DATA -----> 使用するPDBの指定
>USE EXAM -----> 使用するピクチャの指定
>DISPLAY -----> 図形の作図
>ERASE -----> 画面の消去
>ENDG
READY

```

2). バッチによる使用

プロシジャ名	記号パラメタ
GRAPHMAN	[ , SYSOUT= ( K   S   <u>O</u>   U   Q ) ]

使用例① 新規にPDBをつくり、データを入力してピクチャを登録する。

```

// EXEC GRAPHMAN
//SYSIN DD *
6 -----> はじめに必ず出力装置の選択をする.NLP(=6)かXYプロッタ(=7)のみ
CREATE PDB('F9999.GRAPHMAN.DATA') REC(5 5)
X=:0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
Y=:4 6 2 12 11 6 9 15 10 11
NEWPIC EXAM 'LINE GRAPH'
ONEDIM 10 X Y
PICEND
END S
ENDG
/*
//

```

使用例② すでに作成しているPDBのピクチャを使って作図する。

```
// EXEC      GRAPHMAN
//SYSIN     DD      *
6
PDB 'F9999.GRAPHMAN.DATA'
USE EXAM
DISPLAY
ENDG
/*
//
```

## 参考文献

1. 計算機マニュアル FACOM OS IV/F4 MSP GRAPHMAN説明書(78AR-5170-2), 富士通株.

(ライブラリ室 電(内)2523)

## 5. ATF, MPS/Xのバージョンアップについて

11月12日(月)より, 標記アプリケーションプログラムをV10/L10へバージョンアップします。

### 1. 英論文編集清書システムATF

このバージョンアップに伴い, 起動方法を従来のログオンプロシジャ方式からコマンド方式に変更します(以下の1)参照)。また, ATFコマンド, ATF命令に以下のような機能追加がありますので, 使用に際しては, 下記マニュアル[1, 2]を参照してください。

#### 1) 起動方法

READY

ATF

\*\*\* ATF V10/L10 1984/10/23 15:07 \*\*\* ←メッセージ

READY

#### 2) 追加機能

@IP……………図版を組込む。

@CF……………化学式の記述ができる。

@SY……………表の中に一般数式記号を記述できる。

## 参考文献

1. 計算機マニュアル FACOM ATF解説書(99SG-7260-1), 富士通株.
2. 計算機マニュアル FACOM OS IV/F4 MSP ATF使用手引書(78SP-7270-1), 富士通株.

## 2. 数理計画法システムMPS/X

使用に際しては、下記マニュアル[ 1, 2, 3, 4 ]を参照してください。

### 使用例

```
// EXEC MPSX
//CPL. SYSIN DD *
  (MPS/X制御言語プログラム)
//GO. SYSIN DD *
  (MPS/Xデータ)
//
```

### 参考文献

1. 計算機マニュアル FACOM OS IV MPS/X解説書(70SG-7600-1), 富士通株.
2. 計算機マニュアル FACOM OS IV/F4 MSP MPS/X使用手引書(78SP-7610-1), 富士通株.
3. 計算機マニュアル FACOM OS IV/F4 MSP MPS/X-MGRG使用手引書(78SP-7620-1), 富士通株.
4. 計算機マニュアル FACOM OS IV/F4 MSP MPS/X-HLP使用手引書(78SP-7630-1), 富士通株.

(ライブラリ室 電(内)2523)

6. 昭和59年度プログラムライブラリ開発課題(追加)について

センターニュース№291以後,採用された開発課題は,下表のとおりです.

昭和59年度プログラムライブラリ開発課題一覧(追加)

開発番号	課題名	開発者(所属)	開発期間	開発時間	新規/継続
13.8	ADLシステムの機能拡張	長 沢 勲 古 川 由美子 (九大・工)	1984.6.1 } 1985.3.31	180分	新規
13.9	ユーザ定義文字のNLP出力 支援プログラムの開発	国 宗 真 (福女大) 吉 田 和 幸 (大分大・工)	1984.10.8 } 1985.3.31	180	年度内 継続
13.10	日本語推敲支援ツールの高速 化と拡張	牛 島 和 夫 日 並 順 二 尹 志 熙 荒 木 啓二郎 高 木 利 久 (九大・工)	1984.10.8 } 1985.3.31	60	年度内 継続
13.11	熱物性値機械計算汎用プログ ラムパッケージの開発	伊 藤 猛 宏 黒 木 虎 人 高 田 保 之 (九大・工) 茂 地 徹 (長崎大) 松 本 健 一 (久留米高専) 山 下 宏 幸 (福岡大)	1984.10.8 } 1985.3.31	120	年度内 継続

(ライブラリ室 電(内)2523)